

関連法規等	本校の教育目標	児童の実態
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法</li> <li>・教育基本法</li> <li>・学習指導要領</li> <li>・東京都教育委員会の教育目標</li> <li>・多摩市教育委員会の教育目標</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考える子</li> <li>◎助け合う子</li> <li>○元気な子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○何事においても意欲的に学習活動に取り組む児童が多い。</li> <li>○教師からの投げかけに対して興味をもち、自分なりに考えようとする。</li> <li>○書いてあることを読んだり、覚えて発表したりすることができる。</li> <li>○読書が好きな児童が多い。</li> <li>●主体的に課題をもつことが苦手である。</li> <li>●自分の考えや思いを適切に伝えることが苦手である。</li> </ul>

**学力向上のための重点（学校経営方針の要点）**

確かな学力を身に付けられる学習指導の充実	ESDの充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎学力の定着と「分かる・できる・楽しい」授業への授業改善の推進</li> <li>・授業のねらいの明確化</li> <li>・授業の「めあて」の提示と「振り返り」の充実</li> <li>・指導方法などの日常的な授業改善、年次研を生かした基礎授業力の育成</li> <li>・指導と評価の一体化</li> <li>・「定着させること」と「工夫させること」の両面からの指導</li> <li>・「どうして?」「どのように?」を大切にしたい思考力、問題解決力の向上をねらった発問・授業スタイルの工夫</li> <li>・外部指導者、教育連携コーディネーターの積極的な活用</li> <li>・家庭学習の充実</li> <li>○学力を支える「読む力」の育成</li> <li>・学級文庫の一層の充実</li> <li>・朝読書（週1回）を通じた読書に親しむ習慣の定着</li> <li>・担任、学校図書館司書、つくしんぼ文庫などによる読み聞かせの機会の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科・総合的な学習の時間の充実</li> <li>・6年生全員による「金管バンド」を学校全体で共有する伝統の確立及びバンド活動を通じた社会参画、地域貢献</li> <li>・地域（近隣の特別支援学校、聖ヶ丘子どもお年寄り見守り隊など）交流及び他のユネスコスクールとの交流を通じた表現・発信する活動の充実</li> <li>○認め合い、共に学び合う学習を取り入れた共生の心を培う指導の充実</li> </ul>

**本校の教育目標（めざす児童像）にせまる手だて**

学習指導内容	学習指導方法	学習環境整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ベーシックタイム（東京ベーシック・ドリルを活用して基礎的な学習内容を身に付ける時間）の設定</li> <li>・診断シートの結果を基に練習シートなどを活用した基礎基本的な学力（知識及び技能など）の定着</li> <li>○言語活動の充実</li> <li>・スピーチ、発表、話し合いの進行役など場や相手に合わせた話し方の指導</li> <li>・リスニングによる「話の中心を捉えた」聞き取りの指導</li> <li>・生活科、総合的な学習の時間、学級活動、道徳科などにおける深まりのある話し合い（学び合い）の指導</li> <li>○読む活動の充実</li> <li>・1人読み、ペア読み、グループ読み、クラス読みなど目的に応じた読みを深める指導</li> <li>・どの子も常に「読みかけの本」がある状態にする継続的な読書習慣の確立</li> <li>・資料活用力を付ける指導</li> <li>○書く活動の充実</li> <li>・目的に応じた（自分の考えを表現する・記録するなど）書く（表現する）活動の指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決型の授業展開</li> <li>○協働的な学習による学び合いの充実</li> <li>・友達と楽しく関わり合う学び</li> <li>・集団での学びによる適度な緊張感と心地よい達成感、成就感、自己肯定感</li> <li>○習熟度別指導</li> <li>・習熟度に応じた指導</li> <li>○目的に応じた「思考ツール」の活用</li> <li>・目的に応じて適切な「思考ツール」を選択し、考えを広げる・考えを整理するなど合意形成の過程の可視化</li> <li>○ノート指導の工夫</li> <li>・学習内容がひと目で分かる、後から見ても分かるノートの書き方指導</li> <li>○振り返り活動の工夫</li> <li>・学習感想、論述テストの時間の設定</li> <li>○語彙を増やす指導</li> <li>・時事問題、季節、日本の伝統や文化などについて常時活動（朝の会、帰りの会、給食指導など）や授業で話題にすることによる興味関心の向上</li> <li>・国語辞典の活用</li> <li>○指導力向上のためのOJT</li> <li>・授業交流月間（交換授業1回と授業参観2回※授業後の評価シートを基にした授業者と参観者による意見交換を含む）</li> <li>・児童による学習意識調査の活用（年3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTの活用</li> <li>・アプリケーションの「ミライシート」を活用した基礎学力の定着</li> <li>・タブレット端末の活用（ロイロノート）</li> <li>・プロジェクターや大型テレビの活用（資料の視覚化）</li> <li>○地域未来塾の効果的な活用</li> <li>・未習熟の単元がある児童を対象とした地域未来塾の実施</li> <li>○掲示板の活用</li> <li>・自分の考えがまとまっているノート・成果物の掲示</li> <li>・学びの足跡（学習履歴）の掲示</li> </ul>

**授業改善に向けた取組の重点（具体的な工夫・改善のためのサイクル）**

